

地域の教育力を教育活動に～「地域とともにある学校」へ

本校が取り組む国際理解教育の一環として、2月に3回にわたり、全学年に「英語の本の読み聞かせ」を行い、外国文化や英語の発音・リズムに親しみました。講師は、元高校の英語の教員をされていた本校児童の保護者、三枝さんです。今回、低・中・高学年の発達段階を踏まえて、本の選定や読み聞かせの方法の工夫をしていただき、どの子供も英語の本への興味・関心を高めた様子でした。

また、22日には、様々なフラワーアレンジメントを手掛けるミノルフラワーの萱沼さんを講師としたコサージュ作りを行いました。コサージュ作りは、5年生が卒業する6年生に感謝の記念品としてコサージュを制作して贈るというもので、10年ほど続く伝統です。昨年、新型コロナによる臨時休校で今の6年生は制作できなかったため、お母さんへのプレゼントとしてコサージュを作りました。どの子供も素晴らしい作品が完成しました。ありがとうございます。

5年生への職業講話でゲストを務めていただいた、富士牛乳の萱沼さん、卓示書店の渡辺さん、LONGTEMPS（ロンタン）の渡辺さん、また、スケート教室で指導を仰いだ桑原さんと若月さんなどを含め、本年度は、多くの保護者の皆さんや地域で活躍されている方々に、講師を務めていただき、本校の教育活動の充実に寄与していただきました。下吉田地区の教育力が、下一小をよりよい学校づくりに貢献していただいているのです。「地域とともにある学校」として、学校も家庭も地域もいっそう実感できるように、保護者の皆様に学校教育に積極的に参画していただく体制づくりに尽力していきたいと思えます。

